

平成 27 年度 第 2 回 横浜市都筑区地区センター及び横浜市つづき緑寿荘指定管理者選定委員会 【議事録】	
日 時	平成 27 年 7 月 23 日 (木) 10 時 10 分～16 時 30 分
開 催 場 所	都筑区総合庁舎 5 階 第 1 会議室
出 席 者	荒田委員、大澤委員、佐藤委員、竹迫委員、名和田委員長
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開 (傍聴者 1 人)
議 題	1 面接審査 2 採点審査 (指定候補者の決定)
決 定 事 項	第 3 期指定候補者を次のとおり選定した。 1 大熊スポーツ会館 特定非営利活動法人つづき区民交流協会 2 東山田スポーツ会館 特定非営利活動法人つづき区民交流協会 3 都筑センター (都筑地区センター及びつづき緑寿荘) 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 4 中川西地区センター 特定非営利活動法人つづき区民交流協会
議 事 等	<p>確認事項</p> <p>1 第 2 回委員会における審議施設及び申請状況について 第 2 回委員会では、大熊スポーツ会館、東山田スポーツ会館、都筑センター、中川西地区センターの指定候補者を選定することを確認した。 それぞれの施設で 1 団体の応募があり、全団体が欠格事項には該当しないことを事務局から報告した。</p> <p>2 面接審査の進行について 応募団体による 15 分間のプレゼンテーションの後、15 分間の質疑応答を行うことを確認した。</p> <p>3 議題の進行について 議題 1 (面接審査) 及び議題 2 (採点審査、指定候補者の決定) は、施設ごとに審議するものとし、審議の順番は、大熊スポーツ会館、東山田スポーツ会館、都筑センター、中川西地区センターとする。</p> <p>大熊スポーツ会館</p> <p>1 面接審査【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】 (1) プレゼンテーション(応募団体から説明) (2) 質疑応答 (委 員) 決算を見ると赤字となっているが、赤字でも応募するのはなぜか。</p>

(応募団体) 収支は厳しいが、現状では地区センター等と一緒に管理運営を行うことで、相乗効果が生まれている面もある。地域への貢献という面でも応募している。

(委員) 人員体制について、現状から2名減らす提案となっているが、自主事業も子どもから高齢者まで幅広く展開しようとしている中で、支障なく運営できるのか。

(応募団体) 主に夜間のスタッフを2名から1名に変更した。他区スポーツ会館の人員体制を調査した結果、ほとんどの施設で、夜間は1名で運営していることから問題はないと考えている。

(委員) 現状、館長は、地区センター館長との兼務ということであまりスポーツ会館にはいないようだが、実際は、組織図にあるリーダーが日常の取り仕切りをしているということか。

(応募団体) そのとおり。何かあれば、館長も仲町台地区センターから15分ほどで駆けつけることができる。

(委員) 地産地消の取組の提案があるが、地元の農産物の販売を指しているのか。

(応募団体) 地元にも農業専用地区もあるので、現在も農家の方々とは関係がある。販売する場合は、使用料を払う必要があると思うので、農家の方々とも調整して検討していきたい。

(委員) スタッフの職種転換制度の導入について、実績はあるか。また、大熊スポーツ会館のスタッフに必要とされるスキルや資質はどのように考えているか。

(応募団体) 職種転換制度については、過去にスタッフから副館長になるなどの事例がある。こういった制度でスタッフのモチベーションを高め、成長してほしい。スタッフの資質については、サービス精神や地域活動の経験があること、施設設備に関する経験などが重要と考えている。

(委員) ミーティング室の稼働率の減少について、もう一度説明してほしい。

(応募団体) 定期的に利用していた団体が2つあったが、団体の事情により活動がなくなってしまった。

(委員) 似たような団体を掘り起こせば、稼働率上昇は望めるか。

(応募団体) 中心になって活動する人がいないとなかなか難しいが、こちらからも色々試していきたい。

(委員) 折本小学校のキッズクラブと連携してスポーツ室、ミーティング室で居場所づくりの検討をするという提案があったが、特別なプログラムを組んで実施するのか。

(応募団体) これから考えていく。各所と調整しながら行っていきたい。ミーティング室の稼働率上昇にもつながると考えている。

(委員) ケアプラザとの連携はいつから行っているのか。

(応募団体) 平成 26 年度にスポーツ吹き矢の事業で連携した。今後はケアプラザのニーズも取り入れながら実施していきたい。

2 指定候補者の選定

特定非営利活動法人つづき区民交流協会を指定候補者とする。(436/650 点)

3 講評

【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

・限られた条件で良好に運営しており、地域特性をよく考えた新たな取組を実施しようという姿勢、着眼点は的確で評価できる。ケアプラザとの連携も今後さらに期待できる。

・利用者を増加させる取組みについても、もう一步工夫があるとなお良い。

東山田スポーツ会館

1 面接審査【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

(1) プレゼンテーション (応募団体から説明)

(2) 質疑応答

(委 員) 平成 26 年度に利用者会議が開催できなかったのはなぜか。

(応募団体) 館長の入院により、対応が困難となった。利用者の意見については、個別にヒアリングを行い、臨時的に対応した。

(委 員) 会館まつりについて、大熊スポーツ会館では参加費が 200 円となっているが、東山田スポーツ会館では無料となっている。無料であるが、収入として計上されている 35,000 円はなにか。

(応募団体) 東山田スポーツ会館では、会館まつりの際に、出店団体から寄附をしていただけてることが多く、収入として計上している。例年、参加費を取ることとはしていない。

(委 員) ミーティング室の利用促進策として、高校生ボランティアの記載があるが、具体的な依頼先等は決まっているか。

(応募団体) 仲町台地区センターの隣に日々輝学園があり、ボランティア部が夏休みに勉強会を開催するなど、試験的に連携している。

(委 員) 中学生に会館まつりのボランティアを呼びかけるとあるが、具体的に中学生は何をするのか。当日のマンパワーということか。

(応募団体) 東山田中学校に依頼し、物販やまつり全体の清掃、片付けなどの手伝いをやってもらう。企画段階から関わってもらうことも検討している。

(委 員) 提案されている自主事業のうち、新規提案や試験的なものはどれか。

(応募団体) 高齢者のスポーツ講習とミーティング室の個人開放、中学生から団体登録を可能とする制度変更は、新規提案として今後検討する。東山田地域ケアプラザとの連携は試験的に年 1 回程度実施している。東山田中学

校との連携については、当団体が運営している東山田中学校コミュニティハウスと一緒に進めていきたい。

(委員) 地域づくりコーディネーター養成講座は年1回とあるが、希望スタッフのみが参加するのか。

(応募団体) スタッフは希望制で参加する。館長は必ず参加する。

(委員) 増収に向けた取組も記載されているが、利用者への還元も考えているか。

(応募団体) いただいた寄附金は、サービス向上につながる物品を購入するなどして、利用者へ還元している。主に利用者用の物品を購入することが多い。

(委員) 15時～17時までスポーツ室とミーティング室を子どもに開放するとあるが、スポーツ室の稼働率が、94.3%という現状で、実効性はどのように考えているか。

(応募団体) 日程や時間帯の区分けで効果を上げられると考えている。

2 指定候補者の選定

特定非営利活動法人つづき区民交流協会を指定候補者とする。(437/650点)

3 講評

【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

- ・限られた条件で良好に運営しており、今までの運営を踏まえて第3期に新たな取組を実施しようという姿勢は、評価できる。
- ・自主事業については、これから検討するものが多いようなので、具体的にサービス向上につながるように稼働率の向上策も一層工夫してほしい。

都筑センター（都筑地区センター及びつづき緑寿荘）

1 面接審査【社会福祉法人横浜市社会福祉協議会】

(1) プレゼンテーション（応募団体から説明）

(2) 質疑応答

(委員) 看護師を新規で1名配置する提案となっているが、当施設独自の提案か、他区ではどうか。

(応募団体) 緑寿荘にはお風呂もあり、他区からの利用者も多く、1日400人から500人程度の利用がある。その中には、足腰の弱い方も増えており、健康面でも老人福祉センターでフォローできないかと考え、看護師の配置を提案した。他区では配置していないところが多いと思う。

(委員) 看護師を配置する動きは、他区ではないということか。

(応募団体) 単館での施設だと、規模的に難しいと思われる。都筑センターは余熱利用施設で、地区センターと老人福祉センターの合築施設という規模だからできるというのはある。

(委員) 地域からのニーズを把握する機会として、主に地区社協の総会への出席、ご意見箱の設置、利用者アンケートの実施があげられているが、地区社協の総会に出席する以外に、課題やニーズを把握する機会は考えているか。

(応募団体) 都筑センターは、7つの連合町内会自治会から運営について地域から意見をいただく場である地区センター委員会に委員を出していただいている。地域のまつりに招待されたり、イベントに出席することも多い。また、コミュニティスタッフが日常の運営の中で、利用者から本音のご意見を聞く場面が非常に大事だと考えている。

(委員) スタッフの自主学習グループを支援する制度の記載があるが、自分たちで地域連携に向けてスキルアップするのは素晴らしいことだと思う。どのようなテーマでグループが立ち上がることを想定しているか。

(応募団体) 平成25年度に導入した制度で、スタッフ同士で顔を合わせて研さんしていくための制度。実際には手話サークルなどがあるが、コミュニティスタッフがどうすれば地域が良くなるか考えていかなければならないと考えている。地域や福祉に理解のある人を採用している。

(委員) 自主事業の計画で、直近2か年で始めたものは何割くらいあるか。

(応募団体) 趣味の教室は、長年続けているが、そのうち3つは、毎年内容を変えている。

(委員) 緑寿荘の利用者が減少しているのはなぜか。

(応募団体) 平成23年度は震災の影響で減少しているのかもしれない。緑寿荘は他区の利用者も多いが、遠方の施設よりも身近な施設を利用するようになっているのかもしれない。明確な理由は分析できていない。

2 指定候補者の選定

社会福祉法人横浜市社会福祉協議会を指定候補者とする。(1122/1575点)

3 講評

【社会福祉法人横浜市社会福祉協議会】

- ・地区センターと老人福祉センターでそれぞれ専任のスタッフを配置するのではなく、施設全体として幅広く対応できる「コミュニティスタッフ」の人員体制に加え、看護師を配置することで従来よりも専門的な見守りを行うことができる提案は非常に魅力的である。また現指定管理者としての良好な運営からも、団体の専門性を活かした安定性、安全性は評価できる。
- ・自主事業については、多岐に渡る提案があるものの、世代間交流をテーマとした事業が少ない。日常的な交流を展開できるとより良い。
- ・利用者の減少傾向について、分析が不十分に感じる。高齢者のニーズを運営に反映できるよう分析を進めてほしい。

中川西地区センター

1 面接審査【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】

(1) プレゼンテーション（応募団体から説明）

(2) 質疑応答

(委員) 中川西地区センターに限らず一般的な課題と言えるが、料理室の稼働率が低い。料理室を利用して地域福祉的な食事サービスを行うことは考えていないか。

(応募団体) 近隣にケアプラザがあり、はるかに設備が良い。また、現状、ケアプラザの料理室の利用に余裕があるので、地区センターの料理室では難しいと感じる。

(委員) 自主事業の提案は多岐に渡っており、魅力的なものも多いが、平成27年度開始の事業が多いのはなぜか。

(応募団体) 事業数は年々増やしているが、単に数を増やしているわけではなく、地域課題の解決などをテーマとした事業を増やした結果である。自主事業は、年度ごとに見直しを行いながら計画しているので、結果的に新しい事業が多くなっている。

(委員) 新規事業の提案も多いが、人員体制は大丈夫か。今まで副館長2名だった体制を、副館長1名、指導員1名とする計画となっているが、新たに指導員を設けた意図はなにか。

(応募団体) スタッフの役割分担の見直しを行うとともに、スタッフから昇進できるように指導員という段階を設けた。いくつかの階層を設けることで、スタッフのモチベーションを高めたい。

自主事業については、参画を促進するという意味でも、地域の方々の協力を得ながら実施していきたい。

(委員) 料理室、和室について、現状ではどのような利用制限があるのか。

(応募団体) 安全面、管理面のこともあり、和室は中学生以上、料理室は小学3年生以上という制限を設けている。今後は保護者同伴であれば制限をしない方向で検討している。

(委員) 自主事業の実施について、スタッフだけでなく地域の方の協力を得て、参画を促していくのは簡単ではないと思う。スタッフの資質が問われると思うが、人材育成についてはどのように計画しているか。

(応募団体) 難しい面はあると思うが、最大限努力していきたい。新人研修で地域連携について学ぶ場を設ける。また、雇用する際に、スタッフの資質についても重視していきたい。

(委員) 中川の街活性化プロジェクトは、地区センターから呼びかけたのか。

(応募団体) そのとおり。背景としては、センター北の開発が進むとともに、人がそちらに流れていくこともあり、地区センターから呼びかけた。

	<p>(委員) 自主事業の女性向け「プチ起業講座」とはどのようなものか。</p> <p>(応募団体) 女性の社会進出応援として、男女共同参画センターの協力のもと、出前講座を実施したい。</p> <p>(委員) 寺子屋事業は既に実施しているのか。料金設定などを見ると、具体的に考えているように思えるが、どういうものなのか。</p> <p>(応募団体) これから実施していく事業。設備の整っている地区センターで居場所づくりなどで何かできないかと考え企画した。区子ども家庭支援課も賛同してくれている。当面は食育クッキングとしてやっていきたい。募集は要支援家庭に限るものではない。</p> <p>2 指定候補者の選定 特定非営利活動法人つづき区民交流協会を指定候補者とする。(610/800点)</p> <p>3 講評 【特定非営利活動法人つづき区民交流協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現指定管理者としての良好な運営実績に加え、意欲的な新規提案が多く、地区センターのポテンシャルを活かして、地域連携を推進する姿勢も評価できる。街の活性化を地区センターから呼びかけるという取組も先進的である。自主事業も具体的に考えられており、魅力的で期待できる。 ・発災時にすぐに施設に駆けつける初動班を設けている点は、公共施設の危機対応として評価できる。 ・魅力的な新規提案が多い一方で、地域の参画を促すにあたりスタッフの資質が問われることが想定される。現状の研修でこれだけの事業を実施できるか不安が残る。人材育成を重視し、ファシリテート研修やコーチング研修なども検討した方が良い。
<p>そ の 他</p>	<p>・第3回選定委員会は、平成27年7月27日(月)とし、北山田地区センター、仲町台地区センターの指定候補者等を選定する。</p>